



秋田をこくる建設人

Vol.09

事務

高瀬あゆみさん(20代)

(株)和賀組[湯沢市]

キャリア10年



創業145周年を迎える和賀組は地元の建設業のいわば「顔」。入社前は建設業の「け」の字も知らなかったという高瀬あゆみさんだが、建設業や和賀組の魅力について聞くと、とたんに目を輝かせて語りだす。事務として自分の仕事をこなすだけではなく、会社や周りの役に立ちたいという、控えめながらも強い意志が伝わってくる。

仕事の「やりがい」は?

私自身が従事しているのは主に事務作業なので、「何かを作りあげる」というようなやりがいではないのですが、日々の業務をスケジュール通りにこなす達成感のほかに、社内で頼ってもらったり、感謝されたりすると嬉しいですし、やりがいを感じます。最近は、現場を勉強する機会も増えてきたので、もっと現場の声を拾い上げて、働きやすい職場環境づくりにつなげていけたらと思います。現場のサポート役として貢献できたときに、この仕事をしていてよかったなと感じます。

働きやすい職場環境づくりについて

社員の健康があつてこそその会社だという考え方のもと、当社は健康経営に力を入れています。例えば「禁煙手当」などのユニークな手当もあるんですよ。健康診断の結果も厳しく受けとめて指導していますし、そのおかげで社員の命が助かったケースもありました。取り組みの甲斐もあり、2018年から健康経営優良法人として認定をうけていますし、2021年度はプラットフォームにも認定されました。社内の制度を整えることでも、職場環境は変えられます。今後は気づいたことを会社に提案して、社員の皆さんや会社に貢献していきたいですね。

建設業における女性活躍について

建設業界の中でも当社は、女性社員や若手が多いほうだと思います。社員を大切にしてくれる文化があり、それが働きやすさにつながっているのかなと。私自身、入社時には周りの皆さんのが温かく迎えてくれましたし、結婚や出産を通じて改めて制度面でも働きやすい環境が整っていると感じました。当社に限らず、実は建設業は女性が活躍できる場も多いし、キャリアアップの機会もたくさんあるのですが、そういった魅力がなかなか伝わらなくて…。それもあって最近はYouTubeを通じて、建設業界の素顔を伝える活動もしていますので、ぜひ覗いてみてください!



ココロに残っているプロジェクト

*女性パトロール (2021年～/自社)

女性の目線での「気づき」を取り入れ、安全確保のために活かすことを目的とした取り組み。現場を理解することにより、状況に応じた気遣いができるようになった。普段のバックオフィスでの仕事にもメリットを感じている。



週末はゆっくり & のんびり

週末が近くなるにつれ、疲れもたまってるというもの。「土曜日の朝は、とにかく寝られるだけ寝ています(笑)。でも子供に起こされちゃうんですけどね」と笑って話す高瀬さんには、1歳4ヶ月になるお子さんがいる。週末はなるべくゆっくりスタートして、家族で公園を散歩したり、買い物をしたりしてのんびり過ごすようにしている。しっかり充電できると、「また頑張ろう!」という気力が湧くそうだ。

